

障害児関係団体各位

障害児支援行政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

こども家庭庁障害児支援課です。

この間、オンラインゲーム等で知り合った面識もない知人から海外で儲かる仕事に誘われ、海外に渡航した結果、脅迫・監禁され、犯罪に加担させられる事案が発生しており、オンラインゲームが、性犯罪被害のみならず、闇バイトのきっかけになっている実態が明らかになりました。

これを受け警察庁より、2月20日に添付の資料が公表されました。

貴団体におかれても、こどもへ啓発する立場にある方向けの参考資料として添付の資料をご周知いただきますようお願いいたします。

よろしく願いいたします。

こども家庭庁支援局障害児支援課





令和7年2月20日
警察庁生活安全企画課

「海外で儲かる仕事」は危険です！

オンラインゲームやインターネット等で知り合った面識もない知人から海外で儲かる仕事を誘われ、海外渡航した結果、脅迫・監禁され、犯罪に加担させられる事案が発生しています。

犯罪組織は、あなたの知人等を介して、偽の仕事内容を説明したり、航空券を送って渡航費を負担するなどして、あなたをおびき寄せますが、実際に海外へ渡航すると、更に国境を越えて、思いもよらない地域に連れて行かれるなどして、特殊詐欺等の犯罪に加担することを強制されます。

報酬が支払われないどころか、脅迫・監禁されて逃げられなくなり、家族や警察に助けを求めることすらできなくなってしまう恐れがあります。殺されてもおかしくありません。

たとえ知人からの紹介であっても、内容に合わない高額な報酬が提示されるなど、少しでも怪しいと思う仕事には、一切応じないでください。

実際に海外の仕事を紹介され、警察に相談がなされた事例を紹介します。

～海外の仕事を紹介され、渡航してしまった事例～

- オンラインゲーム上で知り合った人から海外の仕事を紹介され、タイへ渡航後、ミャンマーへ密入国させられた。そして、マシンガンで武装した者が監視する建物に連れて行かれ、詐欺をさせられた。
- インターネット上で知り合った人から海外での仕事を紹介され、タイへ渡航後、ミャンマーへ密入国させられた。ノルマを課され、出来なければスタンガンで暴行される環境下で詐欺をさせられた。
- 知人への借金返済に窮していたところ、知人の関係者から、借金返済のために海外の仕事を紹介された。カンボジアへ渡航後、詐欺をさせられた上、軟禁された。
- 知人から海外の仕事を紹介され、中国へ渡航すると、詐欺をするように言われた。帰国したいと言うと、暴力団の名前を使って脅された。領事館へ助けを求め、保護された。
- 知人から海外の仕事を紹介され、はじめはカンボジアに渡航し、偽の仕事について説明を受けた。そして、ベトナムに行くよう指示され、渡航後、詐欺をするよう言われたため、逃げてきた。

～海外の仕事を紹介されたが、渡航しなかった事例～

- 海外在住の知人に、海外で仕事をしないかと誘われ、個人情報教えてしまったが、マレーシア行きのチケットの写真が送られてきたことで怖くなり、警察に相談した。

「海外で儲かる仕事」を紹介されても、渡航前に思い止まって警察に相談することが「あなた」や家族を救うことになります。警察は相談を受けた「あなた」や「あなたの家族」を確実に保護します。

一刻も早く「#9110」に電話して警察に相談してください。

概要

SNSに起因する各種犯罪の被害児童数が高い水準で推移する中、子供がインターネット利用のオンラインゲームの中で知り合った者から海外に誘い出され、特殊詐欺などの犯行に加担させられたという重要犯罪まで発生している状況であるところ、オンラインゲームが子供が犯罪に巻き込まれるきっかけとなるリスクについて注意喚起を行うもの。

【SNSに起因する事犯】罪種別の被害児童数の推移



オンラインゲーム上のリスクとして保護者等に知っていただきたい事項

(1) 小学生など年少の利用者も被害に遭っている。

オンラインゲーム起因の被害児童数は小学生が年々増加している。

(2) ほとんどのオンラインゲームに「ボイスチャット」や「メッセージ交換」の機能が備わっており、匿名・不特定の者とも簡単にやりとりができる。

ゲーム中の会話において、ひわいな話題に興味を示した子供を犯罪の標的とする者がいる。

(3) 協力してゲームを行うことを通じて、見知らぬ者にも「仲間意識」を持ちやすい。

戦闘ゲームにおいて同じチームでプレイをし、「仲間意識」を強めて子供の信頼を得た上で犯罪行為を行う者がいる。

(4) ゲーム内における高価な「アイテム」の授与等の甘言を用いられ、被疑者の言うことに従ってしまう。

ゲーム内で使用する有料の「アイテム」をプレゼントすることにより、子供の信頼を得た上で犯罪行為を行う者がいる。

(5) ゲームの上級者に対する「憧れ」の感情を利用される。

ゲーム攻略のアドバイスをするなど「ゲームの上手な優しい人物」を演じて子供の信頼を得た上で犯罪行為を行う者がいる。

上記事項を踏まえた注意喚起

上記のリスクを踏まえ、保護者等の皆様には、下記の点について子供とよく話し合ってください。

○ペアレンタルコントロールの活用

スマートフォン、パソコン、ゲーム機等のペアレンタルコントロール機能を活用し、子供のオンラインゲーム利用を適切に管理する。

○家庭でのルール作り

オンラインゲーム内においても、SNSと同様、個人情報や不適切なメッセージを他人に送らない、ゲーム内で知り合った人と安易に連絡先を交換したり実際に会ったりしない、少しでも不安を感じたら相談するといった家庭内でのルールを作る。